

第27回図書館総合展 オンライン出展  
図書館でのよりよい医療情報提供のあり方を考える2025  
～科学的根拠に基づく予防・健康づくり～  
2025年11月13日（木）Web

## 医療・研究の立場から(3) ～認知症～

鈴木 啓介

国立長寿医療研究センター  
先端医療開発推進センター

## ■ 国立長寿医療研究センター

2004（平成16）年、6番目の国立高度専門医療センターとして設立  
「高齢者の心と体の自立を促進し、健康長寿社会の構築に貢献」



国立研究開発法人  
国立長寿医療研究センター  
National Center for Geriatrics and Gerontology

2

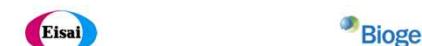
## ■ アルツハイマー型認知症の治療薬一覧

本邦では4種の薬剤の承認が得られている

	ドネベジル	ガランタミン	リバスチグミン	メマンチン
発売	1999年 (貼付剤は2023年)	2011年	2011年 (持続放出性は2025年)	2011年
適応	アルツハイマー型 認知症	アルツハイマー型 認知症 (軽度・中等度)	アルツハイマー型 認知症 (軽度・中等度)	アルツハイマー型 認知症 (中等度・高度)
剤型	錠剤・口腔内崩壊 錠・細粒・ゼリー・貼付剤	錠剤 口腔内崩壊錠 内用液	貼付剤	錠剤 口腔内崩壊錠
用法	1日1回	1日2回	1日1回 (持続放出性は週2回)	1日1回
作用	コリンエステラーゼ 阻害		NMDA 受容体拮抗	
主な 副作用	食欲不振・嘔気・興奮		傾眠・ふらつき	

## ■ レカネマブ（レケンビ®）登場！

エーザイ社HPより



2023年12月13日

エーザイ株式会社

バイオジェン・インク

「レケンビ®点滴静注」（一般名：レカネマブ）

日本においてアルツハイマー病治療薬として12月20日に新発売

日本医薬品医療機器審査会HPより

レカネマブ点滴静注 200mg  
レカネマブ点滴静注 500mg  
LEQEMBI® for Intravenous Infusion  
新規医薬品ガイドライン対象薬



## ■ ドナネマブ（ケサンラ®）

2024年11月26日

早期アルツハイマー病※治療薬 ケサンラが発売されました

日本イーライ・リリー社社作成資料より

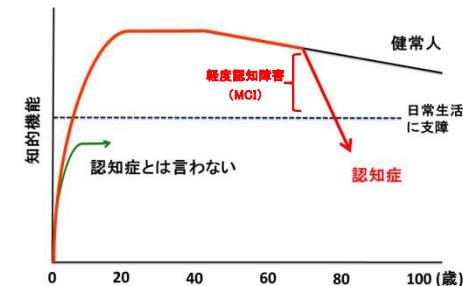
※ケサンラの効能又は効果:アルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制

- ケサンラはアミロイド $\beta$  ブラークの除去を目的に創製されたヒト化抗N3pG A $\beta$ モノクローナル抗体製剤です。
- 2024年9月、「アルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制」の効能又は効果で承認されました。



## ■ 認知症とは

いたん正常に発達した知的機能が持続的に低下し、日常生活に支障をきたすようになった状態



## ■ 認知症とは

### 認知症

『認知機能が低下し、日常生活や社会生活に支障をきたす状態』



### 軽度認知機能障害（MCI）

『認知機能が低下し、日常生活や社会生活は保たれている状態』

年間で15~20%が認知症に移行

### 2022年有病率調査

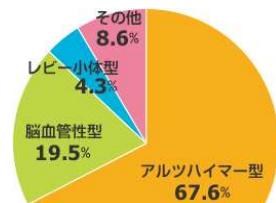


適切な予防策で次のステージへの移行を抑制する可能性

Petersen RC, et al. (2018). "Mild Cognitive Impairment: clinical characterization and outcome", Arch Neurol.  
令和5年度 老人保健事業推進費等補助金「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」(研究代表者 九州大学 二宮利治)」  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku-附録/001279920.pdf>

## ■ 認知症の原因

アルツハイマー型が圧倒的に多いが、  
認知症 = アルツハイマー型認知症ではない



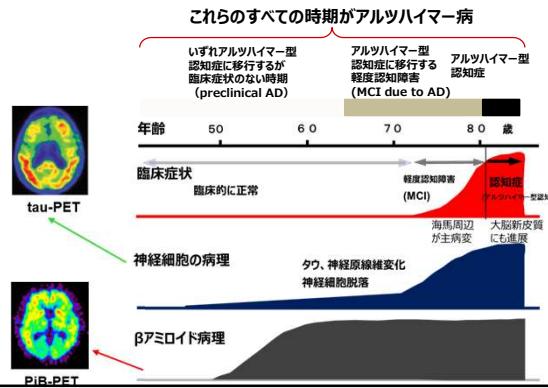
厚生労働科学研究費補助金認知症対策総合研究事業「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」平成23年度～平成24年度

ビタミン欠乏、慢性硬膜下血腫など、治るものの方が例外的

## ■ アルツハイマー病とアルツハイマー型認知症

認知症サポート医養成研修資料より

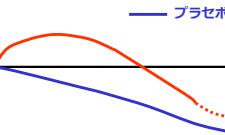
### アルツハイマー病が惹起する認知症をアルツハイマー型認知症



## ■ アルツハイマー病の治療

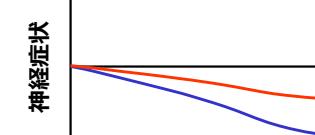
### 補充療法 ドネペジルなど

軽症  
神経症状  
重症



### 疾患修飾薬 レカネマブ ドナネマブ

軽症  
神経症状  
重症



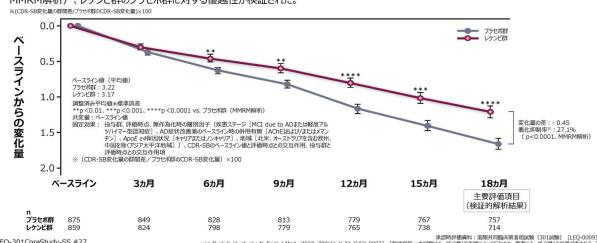
どちらも疾患の進行が止まったり、症状が改善する訳ではない

## ■ レカネマブの有効性

エーザイ社作成資料より

### 国際共同第Ⅲ相試験 (301試験Core Study) (海外データを含む) CDR-SBのベースラインからの変化量 (各評価時点) 【18ヶ月: 主要評価項目 (検証的解析結果)】

主要評価項目 (検証的解析結果)である投与18ヶ月後におけるCDR-SBのベースラインからの変化量 (調整済み平均値)は、プラセボ群 1.66、レカネマブ群 1.21、その差 -0.45であり、レカネマブ群はプラセボ群と比較して有意な悪化抑制が示され (27.1%抑制<sup>※</sup>、p < 0.0001)、



進行を止めたり、根治したりする薬はいまだ未到達  
現在も新薬の臨床研究・治験が進められている

## ■ 治療ターゲットの将来展望

### AD Continuumの概念

NCI-301 to AD-3研究打ち切り  
原因: ディスラビリティ  
近畿大学医学部 精神科講義資料  
梅本 謙 先生



Aβ蓄積、シナプス機能障害やタウによる障害、さらに脳萎縮、認知機能障害、日常生活障害が出現するという  
経時的に連続した病態進行過程 (AD Continuum) は、種々の検査によって捉えられる可能性がある

P-LEQ-55-NCI202302 #5

Hampel H, et al.: Mol Psychiatry 2021; 26(10): 5481-5503.e9

## ■ 認知症を予防するために

どうやって予防すればよいのでしょうか？



ここからは非薬物療法の話が中心です

## ■ 認知症の予防の考え方

### 一次予防（認知症の発症遅延や発症リスク低減）

- 運動不足の改善と糖尿病や高血圧症等の生活習慣病の予防
- 社会参加による社会的孤立の解消や役割の保持
- 介護予防の事業や健康増進事業と連携

### 二次予防（早期発見・早期対応）

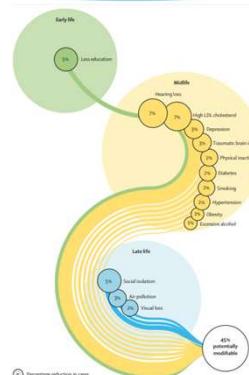
- かかりつけ医、保健師、管理栄養士等による健康相談
- 認知症初期集中支援チームによる訪問活動
- かかりつけ医や地域包括支援センター等と連携

### 三次予防（認知症の進行の予防と進行遅延）

- 重症化予防、機能維持、行動・心理症状の予防・対応
- 認知症バリアフリー、不安の除去と安心・安全な生活の確保

かかりつけ医が認知症対応力向上テキスト <https://frontier-oc.or.jp/mkb/r2.html>

## ■ 認知症の一次予防



### 関連因子

教育水準の低さ  
難聴  
抑うつ  
頭部外傷  
運動不足  
糖尿病  
喫煙  
高血圧  
肥満  
過度のアルコール摂取  
社会的孤立  
大気汚染  
高LDLコレステロール  
視力低下

対処する事で45%を予防または遅らせる可能性

## ■ 一次予防のエビデンス

### 中年期から気を付けることが重要

#### 難聴

補聴器を長期装用することによって、難聴による認知症のリスクが緩和されることが示唆

#### 睡眠時間

中年期の睡眠時間は7~8時間が認知症リスクが低い  
極端に短い（6時間未満）長い（9時間以上）睡眠時間は  
リスクの増加と関連  
加えて睡眠時間が短縮すると、認知症のリスクが高まる

#### 肥満

中年期からの体重増加、体重減少どちらも認知症リスク  
体重減少がより強く関連している可能性



Nishiyama T et al. Relationship between hearing thresholds and cognitive function in hearing aid non-users and long-term users post-middlelife. *NPJ Aging*. 2025 Feb 24;11(1):14.  
Hirashima T et al. Japan Public Health Center Study Group. Sleep duration, its change, and cognitive decline among middle-aged and elderly Japanese. *Prev Med*. 2010;107:788-94.  
Gopaul MA et al. Increased sedentary behaviour and cognitive decline: a 10-year prospective study of physical activity and cognitive function in older adults over a 7-year period despite high levels of physical activity. *Alzheimer's Dement*. 2020 May;16(5):e30151.  
Tajima T et al. Body mass index, weight change in middle, and dementia incidence: the Japan Public Health Center-based Prospective Study. *Alzheimer's Dement*. 2023 Jan;19(1):e32507.  
Doi T et al. Life-Space Activities and Incident Dementia Among Older Adults: Insights From a Cohort Study. *J Am Med Dir Assoc*. 2023 Feb;26(2):105416.  
Tajima T et al. Perceived Level of Life Engagement and Risk of Developing Dementia: Insights From a Cohort Study. *J Geriatric Psychol Behav Sci*. 2023 Dec 6;91:12.  
Hirabayashi T et al. Association Between Frequency of Social Contact and Brain Atrophy in Community-Dwelling Older People Without Dementia. The SPICE-AD Study. *Neurology*. 2023 Sep 12;101(11):e1108-e1117.

## 一次予防のエビデンス

### 脳への刺激が重要

#### 日常活動

座位時間が長いほど、海馬体積減少速度が速く、言葉を思い出す能力と情報処理能力の低下速度が速い

日常生活における活動性が高いほど、認知症の発症リスクが低い

他者との交流がある方が脳萎縮が少ない

生活を楽しんでいる意識が高いと、要介護認知症のリスクが低い



Nishiyama T et al. Relationship between hearing thresholds and cognitive function in hearing aid non-users and long-term users post-mildlife. *NPJ Aging*. 2025 Feb 24;11(1):14.  
Miyata M et al. JPHC Disabling Dementia Study Group. Sleep duration, its change, and risk of dementia among Japanese: The Japan Public Health Center-based Prospective Study. *Prev Med*. 2024 Mar;180:157884.  
Gotoh M et al. Increased sedentary behavior is associated with neurodegeneration and worse cognition in older adults over a 7-year period despite high levels of physical activity. *Alzheimer's Dement*. 2025 Mar;11(3):101-108.  
Tajima M et al. Body mass index, weight change in midlife, and dementia incidence: the Japan Public Health Center-based Prospective Study. *Alzheimer's Dement (Amst)*. 2023 Nov 23;19(4):e12507.  
Dot Y et al. Physical Activity and Risk of Dementia: The Japan Public Health Center-Based Study. *J Geriatr & Psychol Sci*. 2023 Dec 6;7(6):12.  
Tajima T et al. Perceived Level of Life Enjoyment and Risk of Developing Disabling Dementia: The JPHC-AD Study. *Neurology*. 2023 Sep 12;101(11):e1108-e1117.  
Hirabayashi N et al. Association Between Frequency of Social Contact and Brain Atrophy in Community-Dwelling Older People Without Dementia: The JPHC-AD Study. *Neurology*. 2023 Sep 12;101(11):e1108-e1117.

## 一次予防を目指した介入研究

#### 運動介入

運動は全身を使った中強度程度の負荷（軽く息がはずむ程度）がかかるものがよい  
有酸素+レジスタンス 中等度以上の強度・週3回以上・3か月以上の介入で有効性が  
報告されている → 実行機能・空間処理能力の変化

#### コグニサイズ

認知課題の併用

#### 認知症予防運動プログラム

#### コグニサイズ入門



認知課題を運動中に併用する  
デュアルタスク

Dohi W et al. Physical Activity to Counter Age-Related Cognitive Decline: Benefits of Aerobic, Resistance, and Combined Training: A Narrative Review. *Sports Med Open*. 2023 May;7(1):15.  
<https://doi.org/10.1007/s43672-023-00460-2>  
<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC9840462/>  
<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC9840462/>

#### J-MINT

(Japan-multimodal intervention trial for prevention of dementia)



生活習慣病の管理、運動指導、  
栄養指導、認知トレーニングによる介入

## 皆さんに気をつけていただきたいこと

### 認知症に関する情報に接した時

- 対象は何か  
✓ 認知症、軽度認知障害、アルツハイマー病 など
- 何がどうなったか  
✓ 認知症の発症、認知機能、はたまた主観 など  
✓ 改善した、そのままだった、遅らせた など
- 結論はどうなったか  
✓ 予防できた、症状を改善できた、悪化を抑制した など

「治る」「良くなる」「予防できる」など断言には要注意

ご清聴ありがとうございました